

音楽のおくりもの Information

Spire_M

中学・高校版
通巻第29号



p.2 特集
新しい教科書
**音楽の
おくりもの**
ができました!

- p.8 「音のスケッチ」を活用して創作を楽しく
八戸市立三条中学校教諭 長者久保 希史子
- p.12 「能を授業で教える!!」日本の伝統芸能を通して
つちかう21世紀型学力
広島市立井口台中学校教諭 中常 泰彰



教育出版

柱1

〔共通事項〕を支えとした音楽学習
「音楽の要素を捉えながら」

柱2

我が国の音楽文化を基盤にした音楽学習
「さまざまな音楽文化」

柱3

思考力・判断力・表現力の育成
「歌い合わせ聴き深める喜び」

歌唱・（器楽）教材群

プロセスを丁寧に示した創作のページ
「音のスケッチ」

中学音楽

目次
(1学年)

鑑賞教材群

基礎的な奏法を丁寧に説明した
「演奏の仕方を身につけよう」

学校の実態に応じて取り扱えられるよう、
編曲・構成を工夫した教材群
「合わせて演奏しよう」

目次 Contents	
青空へのぼろう 4 夢の翼 8 アニー・ローリー 10 エーデルワイス 14 夏の思い出 16 赤とんぼ 20 ソーラン節 24 海が明けるよ 26 希望という名の花を 28 四月のいのちの歌 30 新しいリズム曲をつくろう 32 日本語の抑揚を生かした 旋律をつくろう 36 太陽のための 音楽をつくろう 60	「春」第1楽章 32 魔王 36 日本の民謡と民謡 40 華曲「六段の調」 42 日本とアジアをつなぐ音 46 プルトバ（ミルダウ） 48

目次

各冊-98・With My Heart 音楽はメッセージ

口絵②・図解 制作現場を訪ねて
49①・図解 手作りの横笛

Contents

演奏の仕方を身につけよう //

リコーダー

4 各部の名称

5 姿勢とかまえ方 / 指の番号と指番号

6-7 タンギング / 一つの音で吹いてみよう

●リズム de ゴー (A, S)

●リズム de ゴー オリジナルのリズム de ゴー

7 チューニング

8-9 左手で吹こう

●しりとりの歌 (S, A) ●喜びの歌 (A)

●メリーさんの羊 (SA) ●オーラ・リー (AA)

10-11 右手を加えてみよう

●うみ (A) ●アメージング・グレイス (AA)

●ロング・ロング・アゴー (AA) ●ソナタ K.331 (AA)

12-13 サミング

●サムののりとこと (A, S) ●こげよマイケル (AAまたはSA)

●エーデルワイス (AAまたはSS)

14 ●おひの歌 (A, S) ●オーロラ (AA)

15 ●星に願いを (A)

16-17 アーティキュレーション

●大きな古時計 (AA)

18 ●プランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章 (SA)

●プランデンブルク協奏曲第2番から 第2楽章 /

リコーダーソナタ ヘ長調 作品1-11から 第2楽章

19 リコーダー・コレクション

ギター

20 姿勢とかまえ方

21 各部の名称 /

指の名称

22 チューニング (調弦) /

右手の使い方

23 左手の運び

●アニー・ローリー

●Good Morning to All

24-25 コード

●カリソカ

26 アルペジオ (分散和音)

●エチュード

26-27 スラー

●マルセーノの歌

28-29 新しいコード

●ラ・クンパシータ

11 曲フレーズについて

29 曲タグについて

35 曲 45 曲 59 曲 増設について

43 曲サワリについて

51 曲さし指 (指打ち) について

合わせて演奏しよう //

64 曲 もみじ (AA)

65 曲 故郷 (AA)

66 曲 シチリアーナ (GGG)

67 曲 定城の月 (第二部)

68 曲 希望みつけろ / 夜空を見上げて (編曲)

70 曲 カントー・ロード (SS+低音 または A+低音)

72 曲 木足 (SATE)

74 曲 聖アントニー・コラール (SS または AA)

75 曲 キエフの大門 (AA)

76 曲 風のとおり道 (AA)

77 曲 風たちの会話 (SAA)

78 曲 春 (SS+低音 または SA+低音)

79 曲 メヌエット (SA+低音)

80 曲 さくらさくら (第二部)

82 曲 こきりこ節 (第二部)

84-85 曲 夢楽楽 (編曲) さくらさくら、こきりこ節

86 曲 かんづばき (三味線第二部)

88 曲 ライディン

90 曲 からくり絵巻 (リコーダー、三味線、箏、太鼓)

92 曲 ジョイフル コンポジション 1, 2 (休で作業)

S…ソプラノリコーダー A…アルトリコーダー T…テノールリコーダー B…バスリコーダー G…ギター

「おくりもの」の編集趣意と特色

歌うためのワンポイント・アドバイス
「Let's Sing!」

音楽を形づくっている要素のはたらきを知覚・感受する
「どんな特徴があるかな?」

自学自習に役立つ
「学習資料」

歌唱・合唱教材群
「歌のアルバム」

声や身近な楽器を取り入れた活動のページ
「Let's Try!」



資料 48・日本の楽器と音楽 99・リコーダーの楽指表 各本・いろいろな用語、記号
49・さまざまな日本の横笛 100・ギターとキーボードコード表

30・各部の名称 31・柱の立て方 / 爪 / 調弦法 32-33・姿勢とかまえ方 / 楽指による基本的な奏法 ●練習曲 1, 2 34-35・さくらさくら ●さくらさくら ●さくらさくら 36-37・奏法 (弾し) ●荒城の月 ●荒城の月 ●荒城の月 38-39・●もののけ姫 奏法 (合奏、スワイプ、ピツピカート)	50・各部の名称と指の位置 / 姿勢とかまえ方 51-52・吹いてみよう / 運指 ●たここがれ ●ひらいたひらいた 52-53・新しい音 ●さくらさくら ●子守歌
40-41・姿勢とかまえ方 / 各部の名称 42・糸と駒の準備 / 調弦法 43・基本的な奏法 / 開放弦の練習 44・駒の押さえ方 / 三味線の楽譜 45・駒の練習 ●さくらさくら 46-47・いろいろな奏法 ●長唄「勧進帳」から 寄せの合方 ●長唄「勧進帳」から 寄せの合方 ●長唄「勧進帳」から 寄せの合方	54・太鼓演奏の例 55・太鼓の種類 / ばちについて 56-59・かまえ方と打ち方 59・基本のリズムを打ってみよう 60・●千の海誓 望の章
61・各部の名称 / 姿勢とかまえ方 62・口笛の当て方 / 音の出方 / 運指 ●もういいかい	

名曲旋律集

- 94・・・シュベールの子守歌 (シュベール)
- 連作交響詩「我が祖国」から ブルタバ (モルダウ) (スメタナ)
- 「四季」から 冬 第2楽章 (ヴィヴァルディ)
- 95・・・組曲「展覧会の絵」から プロムナード (ムソルグスキー)
- 交響曲第5番 ハ短調 から 第4楽章 (ベートーヴェン)
- 交響組曲「シェンザード」から 第3楽章 (リムスキー・コルサコフ)
- 96・・・ボレロ (ラヴェル)
- 「アイーダ」第2幕 第2場から 凱旋の行進曲 (ヴェルディ)
- 97・・・赤とんぼ (田代百合子) / 花の街 (横山伊勢雄)

資料 48・日本の楽器と音楽 99・リコーダーの楽指表 各本・いろいろな用語、記号
49・さまざまな日本の横笛 100・ギターとキーボードコード表

中学器楽 目次

教科書で扱う歌唱・鑑賞教材を
リコーダーや箏で楽しむ
「名曲旋律集」

日本の伝統的な歌唱

歌唱教材「ソーラン節」と、比較聴取教材「かりぼし切り歌」とを関連づけて学習することにより、日本の伝統的な歌唱の特徴をより感じ取ることができます。

1年 p.24-25
ソーラン節
かりぼし切り歌

ソーラン節

昭和時代のニシン漁の様子

「ソーラン節」のもとになった「岸曲げ音頭」は、北海道西北部日本海沿岸のニシン漁で歌われていた仕事歌だよ。仕事の様子を思い浮かべ、独唱と斉唱で歌い分けてみよう。

＜歌い合わせ方＞

- 独唱 ヤレン ソーラン ソーラン ソーラン ソーラン
- 斉唱 ハイハイ (揃ってことば)
- 独唱 にんきさかたか かもめ に えは わたし たつとり なみにきけ チョイ
- 斉唱 ヤサ エーエン ヤンサーノ ドッコイショ アードッコイショ ドッコイショ

「歌唱」と「鑑賞」の
横断的学習

「ソーラン節」と次の「かりぼし切り歌」を聴き比べて、共通点や相違点を、みんなで話し合ってみよう。

「かりぼし切り歌」

「かりぼし切り歌」は、宮崎県の山間地で生まれた仕事歌です。家畜の飼料や民家の屋根などに利用するため、舐れたかやなどを取り除く場面で歌われます。リズムは、はっきりとした拍をもたないリズムです。

＜「かりぼし切り歌」の民謡曲＞

民謡の特徴

- 場所 歌の前後、または歌に合せてはさみこむ掛け声の一種。
- リズム はっきりとした拍をもたないリズム。「八木節」「八木節（前奏・後奏）」など
- 歌詞 労働者の歌い出し、それに一回が歌い合わせる形式。
- 演奏 独唱・独奏、独奏・独奏、独奏・独奏の技法のこと。
- 楽器 歌謡の一部から引き継がれた月音のこと。上記の民謡曲例の「ここ***の***」など

日本の歌 みんなの歌（歌唱共通教材）

作者の思いや意図にふれるコラムや、自然の美しさを感じ取れる写真などを多数掲載しています。
1年…「夏の思い出」「赤とんぼ」 2・3上…「浜辺の歌」「早春賦」「花の街」 2・3下…「花」「荒城の月」

楽曲ゆかりの地を
ビジュアル表現

1年 p.16-17
夏の思い出

夏の思い出

作者の思いや意図にふれるコラム
「A Message for You」

ふと目に浮かんだのが水芭蕉がいつか咲いている風景でした。（西郷隆盛） 田舎から片品へ行って、片品の戸の入り口で水芭蕉が咲いている風景を見たことがあったんです。それはもう戦争が終わる一年二、三か月前のことと聞いています。とにかく見てから戻って水芭蕉が咲いていて、何も書けなかった時にふと浮かび上がった、水芭蕉を置いてみよう。（江間 章子）

この曲は、昭和24年、NHKのラジオ歌謡として作曲し、放送されました。日本には、芭蕉が大切なので、芭蕉を全かし、正しい日本語に聞こえるように作曲しました。（中田 喜直）

作者について

作曲 江間 章子 (1913-2005)
詩人。新潟県生まれ。1930年（昭和5年）、東京音楽学校（現東京音楽大学）を卒業。歌曲、合唱曲など多数の作品がある。その他「花の街」「夏の思い出」は歌曲として有名である。

作曲 中田 喜直 (1923-2000)
作曲家。東京都生まれ。1943年（昭和18年）、東京音楽学校（現東京音楽大学）を卒業。歌曲、合唱曲など多数の作品がある。その他「花の街」「夏の思い出」は歌曲として有名である。

楽曲ゆかりの地

学習の内容や活動がつかめる「リード文」

これから学習する鑑賞教材の基礎知識や着目点を、生徒にわかりやすい文章で示しました。

2・3下 p.36

文楽「義経千本桜」から



文楽（「人形浄瑠璃」ともいいます）は、巧みに操られる人形が豊かな表現で物語を繰り広げます。文楽では義太夫節という音楽が用いられ、太夫と呼ばれる語り手と、三味線奏者の二人で演奏されるのが特徴です。義太夫節の声や三味線の音色（おんしよく）、太夫と三味線と人形の動きなどに着目して、文楽のよさを味わってみましょう。

楽曲全体の構成がひと目でわかる「全曲構成」

抜粋して取り扱っている教材が、楽曲全体のどこにあたるのかをナビゲートしています。

2・3上 p.44-45

組曲「展覧会の絵」から

全曲構成	
組曲「展覧会の絵」	
プロムナード（冒頭）	
第1曲 グノーム	プロムナード（第1曲と第2曲の間）
第2曲 古城	プロムナード（第2曲と第3曲の間）
第3曲 テイルリー	第4曲 ビドロ
第4曲 ビドロ	プロムナード（第4曲と第5曲の間）
第5曲 卵の殻をつけたひななどのパレエ	第6曲 サミュエル・ゴールデンベルクとシュムレ
第6曲 サミュエル・ゴールデンベルクとシュムレ	第7曲 リモージュの市場
第7曲 リモージュの市場	第8曲 カタコンベ
第8曲 カタコンベ	死せる言葉による死者への話しかけ
第9曲 霧の足の上の小屋	第10曲 キエフの大門



言語活動の取扱い比較聴取「聴き比べてみよう!」

各主要教材に対し比較聴取教材を設け、言語活動などをおして聴き取る力を育めるように工夫しています。

「ブルタバ(モルダウ)」と比較

1年 p.51

交響詩
「魔法使いの弟子」

聴き比べてみよう!

文学的な内容による交響詩を聴いてみよう

交響詩 魔法使いの弟子

ポール・デュカース 作曲

交響詩「魔法使いの弟子」は、ゲーテの詩を音楽で表した作品です。詩のあらすじは「魔法使いが弟子に水くみを命じ、出かけた。水くみに疲れた弟子は、見よう見まねでほうきに魔法をかけ、自分の代わりをさせる。ところが、水があふれても魔法を解くことができず、おのけほうきをたたき割るが、それでも水くみを止めない。手がつけられなくなった時、師匠の魔法使いが帰ってきて、魔法を解き弟子を叱る。」というものです。物語をどのように音楽で表しているか聴き取ってみましょう。

つまずきのない教材曲配列

「こげよマイケル」「エーデルワイス」「浜辺の歌」を教材曲として新たに加え、生徒の技能を無理なく伸ばしていけるように配慮しました。

器樂 p.12-15

リコーダー

サムのひとりごと

こげよマイケル

エーデルワイス

浜辺の歌

オーロラ

星に願いを

[illegible][illegible]

どちらでも学習できるリコーダーのページ

ソプラノとアルト、どちらのリコーダーでも学習が展開できるように配慮しました。

器楽 p.8

リコーダー

しりとりの歌

「しりとり歌」は、各小節の最後の音と次の小節の最初の音が同じで、しりとりのようにつながっています。

● 左手を使った三つの音を練習してみよう。

ソプラノ・リコーダー

自由な速さで

金子健治 作曲



・…フレーズ (p.11 参照) のくぎりやプレスをする位置を示します。

アルト・リコーダー

自由な速さで

金子健治 作曲



**わかりやすく
アイコン化
しています**

音の スケッチ

を活用して創作を楽しく

青森県八戸市立三条中学校 教諭 長者久保 希史子

学習指導要領に示されている創作のねらいは、言葉や音階などの特徴を感じ取り表現を工夫して簡単な旋律をつくる能力や、音素材の特徴を感じ取り、それらを生かしながら、反復、変化、対照などの構成や全体のまとまりを工夫しながら音楽をつくる能力を育て高めていくことです。しかし実際は、生徒の音楽づくりの経験が少なかったり、教師側に苦手意識があったりすると、手をつけにくい分野であると思います。私も創作は大変不得意です。大学時代に作曲法の授業で手を焼いた経験（いきなりソナタをつくる授業。この単位を取得できないと卒業ができないので、みなさん必死。）があり、「創作は難しい」という意識が今でもぬぐえません。とは思うものの、現行の教科書を見ると、楽しく創作できる取り組み方や教材が掲載されています。このページとの出会いで、私の創作へのハードルはだいぶ低くなってきました。これからご紹介するのは、教育出版平成24年度版中学音楽「音楽のおくりもの」の「音のスケッチ」を元にしながら、生徒の興味・関心を高め、何とか意欲をもって取り組ませようとした授業実践例です。

モチーフをつなげて

2・3年上p.42の「音のスケッチ」は、音階と身近な数字との関係を工夫して、楽しみながら動機をつくったり、その動機を反復や変化などをさせたりしてつくる「動機を生かした旋律をつくろう」という活動が掲載されています。自分の誕生日などの数字を音階に当てはめてモチーフをつくり、反復・変化させることは割合にすぐにできるのですが、変化させながら旋律にしていくことを、一人ではできない生徒がたくさんいます。そこで、一人で取り組む前に、数人の生徒のモチーフをつなげ、反復・変化など（生徒には「テーマ」とか「条件」という表現をしています）をからませながら4小節から8小節の短い旋律をつくる活動をさせます。活動の内容と生徒のワークシートの様子は以下のとおりです。

<活動の手順>

①四～五人のモチーフを出し合う

モチーフが同じような雰囲気（例えば、1月～9月生まれは最初が四分休符で始まる、11・12月は同じ音が続くなど）になりそうな場合は、別の生徒と交換して組み合わせを変えてもよいこととします。（図1：五人のモチーフを出し合ったもの）

図1



②並び順をかえて4～5小節の旋律らしきものにする

音を出しながら、それぞれのモチーフをどのように並べると旋律としてつくりやすいかなど、意見を出し合いながら繋げます（図2）。

図2 □モチーフをつなげてみよう



③反復・変化などの条件を与え、旋律をつくりかえる

それぞれのモチーフをそのまま使うのか、リズムなどを変化させるのか、どのモチーフを繰り返すのかなど、意見を出し合いながら一つの旋律をつくります。考えたものをアルト・リコーダーやキーボードを使って音で確認し、反復・変化などの条件をクリアしているのか、自分たちの求めるイメージに合っているのかなどを確かめ合いながら旋律をつくっていきます。このあたりは大いに盛り上がり、活動が活発になるところです（楽譜は略）。

④4～5小節を繰り返して8小節にし、さらに反復・変化させる

4～5小節を反復・変化・対照させて8小節の旋律にします。その際に、反復・変化・対照の何をどのように使ったのか、なぜそのようにしたのか、自分たちの意図を明確に説明させます。

（図3：8小節の旋律にしたもの。三つの条件に○をつけていますが、できあがりの検討後は、反復・変化の二つに絞りました。）

図3

□ひねりを加えてみよう

条件は 反復 ・ 対照 ・ 変化 （つかうものを○で囲む）



手際よく進む①、②の活動も、③、④となると鉛筆を持つ生徒の手が止まったり、話し合いの声が小さくなったりしてきます。ここは個人でやっても同様のつまずきが考えられるところです。その原因をグループ巡視の中で探ると、モチーフを繋げただけでは旋律線がおもしろく感じられないことや、自分たちの思い描くイメージと違うことがあり、「どうすれば楽しそうに、あるいは生き生きと聴こえるのかわからない」ということでした。そこで、四分音符や二分音符だけでないさまざまなリズム・パターンを提示し、そのリズムに生徒が考えた旋律の素を重ね合わせることによって、旋律の雰囲気が変化すること、8小節にする際に4小節め、8小節めに変化をもたせることを実際に音を出して変化の様子を提案しながら指導します。具体的な方法を少し示すと、生徒の活動にもまた変化が現われてきます。

指導後に作成した旋律を全員で交流しますが、その際には、自分たちの意図を説明させると同時に、別の角度から客観的にみた感想も述べさせます。図3の旋律をつくったグループは、「条件をクリアしていて、なかなかよいできだと思ったけれど、よく聴いてみると、3拍め、4拍めに二分音符を使ったので、旋律全体が重たくなってしまった。」と、リズムの使い方に工夫が必要との反省点を挙げています。

このようにして、四～五人のモチーフを一つの旋律に繋げる活動をグループで行うことで、音の組み合わせ方や反復・変化・対照するおもしろさを理解させると同時に、創作の苦手イメージを解きほぐすことができます。

活動の中で私が心がけていることは、できることが多くなると与えるテーマも増えてきますが、「増えれば増えるほど生徒の集中力や思考力は低下する」と考えるので、どんなに生徒が多くのことを考え創造していても、反復・変化・対照の中から二つぐらいに絞るようにさせています。この段階では、他の生徒と協力して作品を仕上げる協調性、並べ替えや反復・変化・対照などの規則の理解度、他の生徒の創作を聴いて感想を述べたり学びをもてたりしたかということを評価の観点としています。

次に、これを一人でやるわけですが、一度グループ活動をしているので、モチーフをつくることができれば、次の過程は思いのほかどんどん進みます。リズムに苦勞する生徒が多いので、1年p.47の「音のスケッチ 楽しいリズム曲をつくろう」で並べ替えたリズムをモチーフに当てはめたり、教科書のあちこちからリズム・パターンを探し参考にさせます。また、本校では使用しているノートにリズム・パターンが掲載されていますので、それらを活用する生徒も多くいます。個の活動においては、生徒それぞれの創作に対する独立性や、創作活動に対する態度を評価しています。

このように、生徒の実態に合わせて活動の細分化や手順を変えることにより、生徒の創作への理解を深めつまづきを減らし、「旋律をつくることは、難しいことではなく楽しいこと」という意識づけをしています。

戸田市音楽教育研究会では、毎年「児童・生徒作曲コンクール」を実施しています。6月に課題詩が提示されるので、本校では夏休みの音楽科の課題としています。下の図4および図5は、今年度、本校2学年の生徒がつくった作品の一部です。

図4



図5



言葉の抑揚が一致していない部分がありますが、授業で取り扱ったテーマをもとに旋律をつけている様子が見られます。取り組むポイントを明確にした活動や、グループ活動から個の活動へと学習活動を繰り返すことで、音楽をつくるための規則を理解し、音を並べて旋律にする活動に親しんでいくことができると思います。また、音楽をつくるための規則を理解することは、音楽の構造を理解して聴く鑑賞の活動にも大きく繋がると思っています。

インプットとアウトプット

現代は至る所音楽で溢れているので、生徒たちはさまざまな音楽を聴き知っていると思いますが、実際はどうでしょうか。例えば、CMで流れている曲については、意識的に聴いていなければ生徒の中には残っていません。逆に、曲の長さや使い方などによっては、某音楽教室のCMのように、ほとんどの生徒が著名唱してしまう曲もあります。つまりは、生徒の心にインパクトを与えるような曲の選択と、何らかの聴かせ方の工夫が必要ということです。そして、そのインプットした情報が根付けば、創作の授業にいろいろな活用ができると考えています。私はインプットの材料に、生徒も視聴することのできる次の二つの番組を活用しています。

一つめは、NHK（Eテレ）で月曜日～金曜日の朝6時55分から放送される「0655」です。「ねこのうた」「夏だ！チームカブトムシの歌」など、インパクトがあり覚えやすく、反復・変化などが明快な曲が流れてきます。これらを歌わせたり楽譜にして説明し模倣させたりすることで、モチーフを音楽にできない生徒は、繰り返し方や、音の最後の変化などの具体的な方法がわかり、短い音楽にすることができます。旋律自体が覚えやすく、音の動きが理解しやすい曲を活用することが手立ての一つと考えます。

二つめは、音楽の構造などに興味をもたせられる、同じくNHK（Eテレ）で放送している「ららら♪クラシック」です。「ららら♪クエスチョン」というコーナーで、曲の特徴や構造、曲にまつわるお話、その曲の聴きどころを、音を交えてわかりやすく説明しています。音楽の構造や魅力的に感じさせるための音の並べ方の工夫、装飾など理解したことをレポートにまとめさせています。このような番組の活用も、創作に興味・関心をもたせることに繋がるのではないのでしょうか。

意図的に聴かせることが、音楽を構築（アウトプット）しやすくすることに繋がることを期待して、いろいろな音楽や情報をインプットしています。

さいごに…試行錯誤

生徒に簡単な旋律をつくらせることはできるようになってきましたが、言葉や音階などの特徴を感じ取り表現を工夫させること、音素材の特徴を生かしながら旋律をつくらせる活動には、まだまだ大きな課題があります。特に音素材については、そのよさをどのように重ねていくかということについて、重ね方のパターンなどを試行錯誤しているところです。

「音のスケッチ」の活用が意識改革の一步となり、そこから、普段の授業の様子を思い浮かべながら試行錯誤したり、プラスαの活動を考えたりすることによって、創作の授業へ取り組む自分自身の意識が大きく変わっていききました。

この次に活用するのは2・3下p.40の「箏曲をつくろう」で、「教科書に掲載されている五線譜を、縦譜にしてみたらもっと取り組みやすくなるのではないかな……。」と、アイデアはどんどん膨らんでいます。

「能を授業で教える!!」

日本の伝統芸能を通してつちかう
21世紀型学力

～楽しい活動の中から確かな学びのある授業の展開～

広島市立井口台中学校 教諭 中常 泰彰

「お能は敷居が高い」子どもばかりではなく、大人もそう思っているのではないのでしょうか。しかし、実際に体験してみると、そうでもないことが分かります。能楽堂に入ります。その立派なたたずまいにほれほれ。そして聴こえてくる囃子方のお調べは、オーケストラに例えると指揮者入場の前のコンサートマスターのチューニング。そして笛、小鼓、大鼓を受け持つ囃子方の揚幕の中で響く楽器の調整をする音などで、これから始まる演目のわくわく感が高まります。

能の演目の多くは前場と後場の二部構成になっているのですが、能鑑賞のポイントは前半部分の静かな雰囲気と後半部分の激しい動きの差を楽しむことだと思います。シテの動き、謡の強弱、お囃子のテンポ、シテの舞など、目で見て楽しめる場面が多く出てきます。また、文楽や歌舞伎などの他の伝統芸能に比べて、能はサウンド重視です。室町時代の発音そのままの台詞のため、現代人が聴いても判断できない単語がありますが、現代日本語が失ってしまった発音も含まれています。これらの台詞は師匠から弟子へと全て口伝されるため、当時のまま今に残っています。西洋音楽とはちがひ、邦楽は非日常の音楽であり、リラクゼーションの音楽なので、疲れている現代人は舞台を見ながら心地よい響きを感じられます。また、謡の意味がつかめてくるようになってくると、文楽や歌舞伎には背景（大道具）があるが、能には松を描いた絵（鏡板）が一枚あるだけであり、この背景は内容とは関係がなく、登場人物の場所移動などのストーリー展開や、登場人物の心理描写なども全て謡で説明され、謡を聴いて理解できるようになると、能をさらに楽しめるようになります。

さて、今まで述べてきたような、とても魅力的な能は、皆さんもご存じの通り、600年余りの歴史を持つ、世界に誇る我が国の伝統芸能で、無形文化遺産にも指定されており、国際的にも親しまれています。しかし、生徒の方としては、能が身近であるということはあまり多くないかと思います。そこで能の「体験」を授業に取り入れる際には、事前に能に親しませる工夫、十分な下準備が必要になってきます。

本校でも音楽の授業で実際に能を扱う前に学年の生徒にとったアンケートでは、このような結果となりました。

Q. 能とはどんなものか知っていますか。

知っている……………4%

何となく知っている……………69%

知らない……………27%

Q. 能を見たことがありますか。

見たことがある……………5%

見たことがない……………95%

美術部の
生徒が描いた
イラスト



5%の能を「見たことがある」と回答した生徒のほとんどはテレビで何となく見たことがあるという程度でした。特に小学校や、その他特別な、そして意図的な鑑賞の機会がある場合以外は、中学校の音楽の授業で能楽を学ぶ前は、全国的にこのような状態であると思います。そのような状態の中から興味関心を高めることができるかどうかは授業者の力量に関わってきます。

そこで「能」について指導する際、まずは導入の段階で生徒たちに興味関心を喚起させるために、日々頭を悩ませていましたが、ある特別支援学級の研究授業を参観した際に、先生がダンスの技能を習得させるのに視覚覚機器を利用して「視覚支援」という指導場面が効果的に用いられ、生徒たちの意欲を喚起させている場面に出会いました。今回は、それを音楽の授業で取り入れ、能の音楽の導入としてビジュアル面に着目して、それを学習の拠り所としながら、生徒がより主体的に学習に関われるように質問形式にしていきました。

【導入の実際】

◇授業場面でのやりとり◇

※は簡単な解説等

T：「能で必ず使用される物とは何ですか？」

S：「お面？」「扇子？」

T：「ヒントはこれです。」

T：「正解はお面です。能の世界では能面といいます。」

※マンガやテレビや映画でたくさん登場する仮面のキャラクターは、その仮面をかぶることによって超人的な力を発揮するという発想からきています。民族や地域によっては、仮面に霊が憑りうつると信じて、仮面そのものが悪魔や災害を取り払う力を持つと考えられていました。

T：「世界にも様々な仮面があります。例えばこれは何ですか？」

S：「ツタンカーメン！」

※紀元前14世紀に作られた。ギリシャ劇の仮面は大型で拡声装置がついたり、中国から渡ってきた舞楽面は大陸独自の雄大さがあったりします。能面は世界の仮面の中でも小ぶりに、また精緻に作られています。

T：「では能で使用される、ある能面について見てみましょう。」

この能面の性別は？」

S：「見たことある！」「怖い！」等…

T：「正解は女性です。このお面の感情は？」

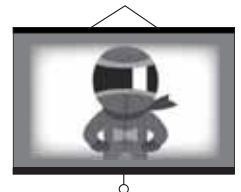
S：「怒ってる」等…

T：「じゃあこうしたらどう見えますか？」

S：「泣いている？」

T：「そうなのです。目だけに注目すると非常に悲しい目をしています。」

※女性の嫉妬の怒りだけでなく悲しみも表したすぐれた造形であることを解説する。



能面について着目させる方法は他にも、

例1 能面は無表情か？

例えば小面（若女）をスライドで大きく示し、1分間くらいじっと見つめて、感じたことを話しあう。

例2 能面を2つの系統に分けよう。

いくつかの能面の写真を用意して、感情を露わにした瞬間表情の面（小面、中将など）と、とらえどころのない中間表情の面（般若、獅子口など）をグループで話し合い、分類してみる。

など、導入の活動として楽しくできます。また、最後に能面については世阿弥曰く「能面こそが本当の顔で人間の顔はそれに従属するもの」という言葉を紹介する。（能面は仮面ではない）



その他にも、舞台や音楽について西洋と日本でビジュアル的な面を画像で比較しながら共通点、相違点などに着目させます。

例えば **舞台** 歌劇 と 能楽堂
音楽 オーケストラ と 囃子方

他にも能が語源で現代使用されている言葉（ノリがいい、脇役、板につくなど）を織り交ぜながら楽しく進められるといいと思います。歌舞伎など他の日本の伝統音楽を指導する際にも応用できます。



～実際の授業の展開～

能は鑑賞を通して、全体の雰囲気や様々な諸要素を感じ取る学習が可能な、広がりのある教材です。また「21世紀型スキル」を身に付けさせる教育活動が多くの中で意識されている昨今、知識を教えるのが一昔前の教育だとすると、知識だけではなく、問題解決能力や思考力、コミュニケーション能力といった新しい能力を育てるような授業展開が必要であると考えます。したがって、その場の授業での鑑賞だけでなく、より親しむために表現活動を体験させることが大変有効であると考えています。

そこで以下の4点の工夫をしながら授業しました。

①身近な「能楽に関する」スポット、エピソードなどを紹介する。

例えば「能楽全体に関するもの」であれば、本校では近くの厳島神社の能舞台があります。その他「演目に関するもの」で「高砂」であれば地理的に広島市内にも住吉神社があり（広島三大祭の一つ「住吉祭」という祭りがあり「すみよしさん」として多くの市民に親しまれている）、身近な松などや結婚式の新郎新婦の席は『高砂の席』と呼ばれ、おめでたい曲であるなど、生活に関連付けることが大きなポイントの一つです。

有名な
厳島神社の能舞台



②教師が実際に能を鑑賞（できれば体験）してイメージを持つ。

能は外国では Japanese Opera と訳されるそうです。実際に能楽堂で能を鑑賞すると、その諸要素の、西洋のオペラとの様々な関連性が分かっていきます。具体的に言えば、能舞台と歌劇場の大きさの違いなどハード面からしかけ、地謡とアリアの心情的な音楽の共通性といったソフト面につなげると、比較的良好に生徒の思考の中で整理されてきます。これを自身で体験したことや感動したことを含めて、自身で作成したパワーポイントで話をして伝えと生徒は熱心に聴いてくれます。

③他教科との連携を図る。

本校2年生の社会科、歴史分野の授業の、「室町文化」の中で能を学びました。武家社会について、この時代の文化について知る、またその後の文化の発展について学習するのに、大変重要なポイントです。そこで、夏休みの宿題で社会科の先生が「能」についてのレポートを作成という課題を出されました。DVDでNHK Eテレ「歴史にドッキリ『雪舟・世阿弥』」を視聴させながら興味関心を高められるように授業されていました。そこで音楽科と関連させることで体験の中から興味、関心を引き出し、内容が深化します。ぜひ年度当初に各教科で作成される年間指導計画にさっと目を通し、アンテナを高くもち、関連性をつかんで連携を図ると、特に日本の伝統的な音楽を学習する場合、大変効果的であると思います。

生徒が作成した
能新聞
「秘すれば花なり」



④取り上げる部分をできるだけ短く焦点化し、「舞」や「囃子」を取り入れる

今回の実践の大きな特徴は、ゲストティーチャーをせっかく招くので、謡や鼓だけでなく「舞」「囃子」も取り入れるということです。皆さんもご存じの通り、舞台芸術の中でも「能」は、舞に高められ抽象化された演技と、謡と囃子による音楽要素によって、人物の内面の働きを表現する音楽・舞踊・演劇の融合した、現存する世界最古の総合芸術です。今回は「高砂」を取り上げ、欲張ってこれもあるというわけではなく、最後の短い仕舞ドコロ「住吉明神の登場後の祝福の舞い（げに様々の舞姫の～）」の一部分に焦点化して表現活動に試みました。物語の全体像を、あらかじめ鑑賞してつかんでおき、最後のこの心情的な仕舞ドコロの部分に謡と鼓と合わせてシカケ（前へ進みながら右手を中心へ差し出す、集中の動き）やヒラキ（後へ下がりながら両手を肩を支点に広げる、解放の動き）を取り入れることにより、よりリアルに能の表現を体験することができます。また扇をクラスの半数程度購入しておく、さらに本物に近づいた雰囲気が出てきます。

それでは、本校が平成25年度広島市伝統文化理解に関する教育について研究発表した内容を次の頁に掲載します。

題材名「能を味わおう」～謡などの体験活動を通して～ (全4時間)

第1・2時

能の歴史や『高砂』のあらすじを知り、グループに分かれて、それぞれのグループで、課題である「高砂」「仕舞」の謡の部分を実習する。

2年 組 箱 組 氏名 ()			
組長			
副組長			
組員			
組員			
組員			
組員			
組員			
組員			
組員			

謡の練習回数記入しよう。(5回まで)

日付	高砂	仕舞	集団したて
例	正	正	おしどりやうき高砂やうき アハハハハ

おまかせ
おまかせ
おまかせ

謡のやり方
一、おまかせ(音)を聴きながら
二、言葉とあわせて謡う也
三、おまかせ(音)とあわせて謡う也



お手本のCDを聴き、ワークシートに記録しながら謡の練習をしました。



節回しや発声についての工夫をグループで話し合いました。

第3時

能の実演を体験しながら演技や音楽が一体となった能の魅力味わう。

講師：喜多流大島能楽堂 大島文恵先生 大島紀恵先生

第4時

思いや意図を持って表現方法を工夫して発表し、能の魅力についてまとめる。

活動全体を振り返りながら感じた能の特徴や魅力について相手に伝わるようにまとめよう。



先生のお手本を見て、『高砂』の一部分の謡や舞を体験しました。



能は室町時代の初め頃、将軍足利義満に保護してもらいながら親子の『観阿弥』と『世阿弥』によって形作られました。能は舞と音楽両方を兼ね備えており、現代のミュージカルと同じようなものです。能は面の角度や動きで感情を表現します。例えば悲しいとき面は下を向き片手で顔を隠す動作をします。このように表現の仕方が分かり人の気持ちが読めるようになっていくとすごく楽しくなり、どんどん能の魅力にとりつかれます。また声と楽器の音の重なり、リズムや独特の間などから日本の文化などが伝わってきます。またそのそれぞれが個性的であり演目によって微妙に違うことも能の魅力です。

〈生徒批評文より〉

授業を終えて（生徒感想文より）

- ☆ きれいに立つ方法、読むときの息の吸い方を意識して次回の発表の時に役立てます。
- ☆ 先生の謡が始まったらぱっと雰囲気が変わってとても迫力のある声になって、節回しなどとてもすごく感動しました。
- ☆ ただ台詞を覚えておけばよいかと思ったのですがやはり苦もあり、正座がきつかったです。現代のように歌と音符を合わせればよいというわけではなく、奥深さを感じました。
- ☆ CDで聴くよりも本物の能を見せて頂きすごくかっこいいなと思いました。舞では思った以上にとても大変な体勢できつかったです。

第2学年 音楽科学習指導案（略案）

1. 題材名 「能を味わおう」
2. 題材の目標
 - ・能の表現及び鑑賞の活動を通じて、日本の伝統や文化に対する関心を持ち、その特徴を理解して場面にふさわしい表現方法を工夫しながら思いや意図をもつことができるようにする。
3. 学習指導要領との関連 A表現 歌唱 イ B鑑賞 ウ
[共通事項] リズム、旋律、テクスチャ、強弱、音色
4. 教材 能『高砂』
5. 指導と評価の計画 ★＝「体験的活動」

時	学習内容 ●学習活動 ◇指導上の留意点	評価方法【評価観点】（方法）
第1時	学習目標：能の歴史や『高砂』のあらすじを知る。	
	導入 ●本時の目標を知る。	
	展開 ●能の概要（歴史や能舞台や能面など）の説明。 ◇あらかじめ作成したパワーポイントで説明。その際に西洋のオペラとの比較などを、短い言葉で説明。 ●能『高砂』のあらすじを知りワークシートに記入する。 ◇現代語訳の文を読み合わせ、ポイントとなる箇所のDVD視聴し、話の内容のイメージを簡単な絵にする。	【関・意・態】（観察） 【関・意・態】（ワークシート）
	まとめ ◇次時の課題である仕舞を知る。	
第2時	学習目標：情景を思いうかべながら謡と舞を体験する。	
	導入 ●本時の目標を知る。 ◇前時をふりかえる。	
	展開 ●課題である仕舞ドコロの謡の部分を実習する。★ ◇DVDを流しながら模倣する。気づいたことがあればワークシートに書かせる。 ●仕舞ドコロの舞と小鼓（手拍子）を実習する。★ ◇構え、シカケとヒラキを、映像を見ながら、謡に合わせる。	【創意工夫】（観察、ワークシート） 【関・意・態】（観察）
	まとめ ◇次回は太夫喜多流の能楽師の方をお招きする事を伝え、その略歴等を説明し、特に注目すべき点、聴き所を伝える。	
第3時	学習目標：能の実演を体験しながら演技や音楽が一体となった能の魅力を味わう。	
	導入 ●本時の目標を知る。 ◇能楽師の方を紹介する。	
	展開 ●能楽師の先生から能の概要の説明と、本時の課題である仕舞ドコロを鑑賞する。★ ◇能楽師の発声を生徒が模倣する。 ●謡に合わせて舞、鼓の指導を受ける。★ ◇グループに分かれて。	【関・意・態】（観察） 【関・意・態】（観察）
	まとめ ●お礼の言葉を述べ、数名の生徒に感想を述べさせる。	

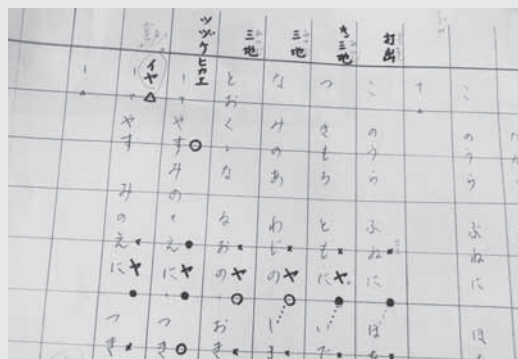
学習目標：思いや意図を持って表現方法を工夫して発表し、能の魅力についてまとめる。		
第4時	導入	●本時の目標を知る。 ◇前時を具体的に振り返らせる。(前時の体験のV T Rをポイントだけ視聴)
	展開	●発表会を行う。★ ◇仕舞ドコロの一部分のみグループで発表する。 ●能『高砂』を鑑賞し、活動全体を振り返りながら感じた能の特徴や魅力について批評文にまとめる。
	まとめ	●他の演目など紹介しながら能の魅力についてまとめる。



最後になりましたが、私はこの実践を行うにあたり、実際に大島喜多流の能楽師の方の稽古に通いました。そこでは沢山の発見があり、とても有意義な体験をしました。例えば地謡では丹田を意識しながら吐く息に「はあー!!」の言葉に乗せながら言葉の回しや間を表現すること、舞の基本姿勢から移動での体の重心の移し方や、能管を吹く際の息の使い方など、多くのことを自分の引き出しにしながら早速合唱や吹奏楽の指導に取り入れています。結婚式などで、「高砂」をひとさし謡って舞えるくらいの技量を身に付けるくらいにしておくと、また表現の幅も広がりとても楽しいです。今回のように、ほんの一部分の内容を焦点化して謡や舞、囃子を授業者自身が習得しておく、ゲストティーチャーを招かずともできると思います。是非とも能に積極的にチャレンジしてみてください。



謡と簡単な囃子や舞の解説のあるワークシート





第13回

地球となかよし メッセージ

作品募集 (2015年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真 (またはイラスト) にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格	小学生・中学生 (数名のグループ単位での応募可)
応募期間	2015年7月1日～9月30日 詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。
作品 テーマ	①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境 や生き物を守るための取り組み ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交 流、国際理解に関すること ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会
◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
*協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>



教育出版

「地球となかよし」事務局

TEL 03-3238-6862 FAX: 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

入
選
前
回
作
品

挿し木

私は「挿し木」について
考えました。私の家には、
枝が長くても高い「ウ
ンベラータ」という木があ
ります。その木がのびすぎ
ているので、枝を切ってま
た小さい木を育てはじめたり、
いこにわけたりしています。
このように、少しずつ木を増や
していくことによって、酸
素がふえて環境にいいことを
改めて感じました。しかも、
タネから育てるよりも早く大
きく育ちます。そして、一つ
の木から何個かにわけるので、
良いところを受けつぐことが
できます。私の家ではいろい
ろな木や草、花を育てていま
す。それらは、私たちの生活
にかかせない大切なもので
す。植林などもありますが、
身近な家にあるものでも、
少しずつ環境にやさしいこと
をしています。そして、一人
一人が“植物”を大切にす
ること、これからの将来につ
ながると思います。



中学・高校音楽通信 **Spire_M** [2015年 春号] 2015年3月31日 発行

編集: 教育出版株式会社編集局
印刷: 大日本印刷株式会社

発行: 教育出版株式会社
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

TEL 03-3238-6864 (お問い合わせ)
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

北海道支社	〒060-0003 札幌市中央区北三条西3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
函館営業所	〒040-0011 函館市本町6-7 函館第一生命ビルディング 3F TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
東北支社	〒980-0014 仙台市青葉区本町1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
中部支社	〒460-0011 名古屋市中区大須4-10-40 カジウラテックスビル 5F TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
関西支社	〒541-0056 大阪市中央区久太郎町1-6-27 ヨシカワビル 7F TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
中国支社	〒730-0051 広島市中区大手町3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手ビル 5F TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
四国支社	〒790-0004 松山市大街道3-6-1 岡崎産業ビル 5F TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
九州支社	〒812-0007 福岡市博多区東比恵2-11-30 クレセント東福岡 E 室 TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
沖縄営業所	〒901-0155 那覇市金城3-8-9 一粒ビル 3F TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411